

大崎町で活躍しています ✨ vol.13



大崎町で過ごして35年！フィリピン出身の原田ローズマリーさん取材しました。

ローズマリーさんは広島や東京、岩手など日本各地を巡った後、鹿児島で働いていた際に友人の紹介で現在のご主人と出会い、結婚を機に大崎町に移住されました。

● 大崎町での生活

移住当初は、新しい環境に不安もあったそうですが、ご主人の兄弟たちの温かな支援を受け、安心して新生活を始めることができました。また、近隣自治体に住むフィリピン出身の方々とも親しくなり、子どもたちを交えたパーティーを開催するなど、にぎやかで温かな暮らしを送られてきました。日本の食文化にも親しみ、特に天ぷらとおでんが大好きだそうです。家庭菜園で採れた季節ごとの味覚や日本の家庭料理に触れ、日本文化への理解を深めていきました。

一方で鹿児島弁の理解には苦労されたそうですが、子どもと一緒に漢字や日本語を学び、保護者同士の交流から多くの助けを得ました。これらの経験は、子どもが成人した現在でもローズマリーさんの大切な思い出であり、今の生活の基盤となっています。

● 今後の目標

現在も日本語の勉強に意欲的に取り組んでおり、「もっと日本語を上達させたい」と意欲を見せています。また、旅行が好きなことから、日本各地を訪れ、さまざまな文化や風景に触れたいとも話します。

現在、ローズマリーさんは多文化共生サポーターとしても活動されており、フィリピンから来日した方々に日本語教室を紹介するなど、かつて自分が受けた支援や経験を、今度は他の人たちに届けたいという思いで、積極的な支援をおこなっています。



多文化共生サポーターを募集しています！

興味のある方は、右の二次元コードから登録をお願いします。



問 企画政策課
共生協働係 (221)

「きっかけは、声掛けから！」

ふるさと納税を活用した事業の紹介 VOL.8

このコーナーでは、全国の方々からいただいたふるさと納税（ふるさと応援基金）を活用した事業について連載で紹介していきます。

大崎町小学校（中学校）入学援助金

- 入学援助金は、子どもが小学校や中学校に入学する際、制服や学用品などの購入費用にかかる負担を軽減するために設けられた援助金です。すべての子どもが安心して平等に教育を受けられる環境づくりをサポートし、新しい学校生活をスタートできるようにとの思いが込められています。

大崎町では、児童生徒1人につき30,000円支給しています。保護者からも「入学時の負担軽減になり助かった」との声をいただいています。



令和5年度ふるさと応援基金を活用した金額 640万円

